



撮影・林忠彦

没後
50年

川端康成展

愛を乞う魂

開館10周年記念企画展

2022年 2023年
12月24日(土)～2月27日(月)

12月24日(土)は開会式のため、10:40に開場

開館時間／9:30～18:00(観覧受付は17:30まで)

休館日／毎週火曜日、年末年始(12月29日(木)～1月3日(火))、
2月13日(月)、2月24日(金)

観覧料／一般500円(400円)、大学生250円(200円)、前売り・一般400円

◎裏面をご覧ください

※()内は20人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。

※次の方は、常設展・企画展ともに無料で観覧できます。

小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方。

編集委員／荻野アンナ 主催／高志の国文学館 共催／富山新聞社、富山テレビ放送

企画編集／県立神奈川近代文学館、公益財団法人神奈川文学振興会

特別協力／公益財団法人川端康成記念会 協力／公益財団法人日本近代文学館

高志の国
文学館
KOSHINOKUNI
Museum of Literature



高志の国文学館 開館10周年

感動との出会い。



開館10周年記念企画展

没後50年 川端康成展

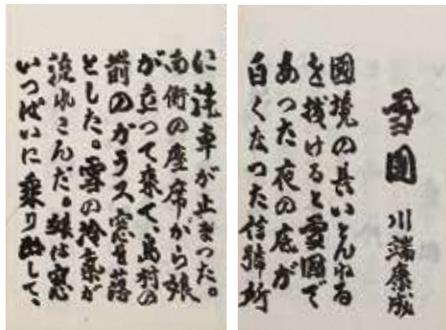
—愛を乞う魂—

「伊豆の踊子」「雪国」などの代表作で知られる川端康成(1899~1972)。アジアで2人目のノーベル文学賞受賞者として世界にその名を轟かせ、没後50年となる現在も数多くの著書が読まれ続けている、日本を代表する文豪のひとりです。

日本の美を描いた作家という印象が強い川端ですが、初期のころは〈新感覚派〉の一員として、先鋭的な作品で注目されています。また、長い作家生活のなかで常に新しい芸術表現を試み、幅広いジャンルの作品を手がけました。戦後は、一般的な道徳を超えたところにある独自の美=〈魔界〉を追求し続け、変幻自在な筆で紡いだその物語は、驚くべき多様性・多面性に満ちており、頁をめくるたびに読者を新たな世界へと誘います。

川端は、14歳の時には唯一の肉親であった祖父とも死別し、孤児となりました。人の愛情をありがたいと感じながらも、癒されることのないさびしさは、孤独を乗り越えようと人とのつながりを追い求める、各作品の登場人物にも映しだされています。

本展では、作品に底流する〈人間・川端〉のさびしさとやさしさ、人間の根源を見つめ、紡いだ、〈川端文学〉のさまざまな愛の世界をご紹介します。



川端康成自筆「雪国抄」冒頭
川端康成記念会蔵



加藤唐九郎作 志野茶碗
川端康成記念会蔵



ノーベル文学賞賞状
川端康成記念会蔵



川端康成より横光利一への弔辞冒頭
県立神奈川近代文学館蔵

関連イベント

一 記念講演

「川端康成の小説万華鏡」

講師/作家・本展編集委員 荻野アンナ氏

日時/2月21日(土) 14:00~15:30

会場/当館 研修室101

◎申込必要 ◎定員/54名 ◎参加無料

二 大学生による白熱読書と対談

「美しい日本の私・あいまいな日本の私」

日時/2月4日(土) 13:30~15:30

会場/当館 研修室101

講師/富山大学教育学部教授 西田谷洋氏

内容/大学生5名がお薦めの川端作品を5分程度で紹介。その後、大学生と講師による互いの書評についてのフリートーク、続いて、講師による対談を行う。

◎申込必要 ◎定員/30名 ◎参加無料

三 映画上映会「伊豆の踊子」

(1963年 日活87分 DVD上映)

日時/2月19日(日) 14:00~15:30

会場/当館 研修室101

◎申込必要 ◎定員/72名 ◎参加無料

四 書道パフォーマンス

テーマ/川端康成の作品

日時/2月25日(日) 13:30~

会場/当館 エントランスゾーン

出演/県立富山いずみ高等学校 書道部

◎申込必要 ◎定員/30名 ◎参加無料

五 担当者による

展示解説(スライド・ビデオ)&

「小さな読書会」

※読書会は各回、課題図書を変えて実施

日時/①1月7日(土)「伊豆の踊子」

②1月28日(土)「雪国」

③2月11日(土)「掌の小説」

各回14:00~

(30分程度の展示解説後、30分程度の読書会)

会場/当館 研修室101

◎申込必要 ◎参加無料

◎小さな読書会は申込不要、参加自由。

課題図書をご持参ください。

「申込方法」電話・FAXにて、イベント名(複数可)と氏名、電話番号を当館までお知らせください。

※定員に達し次第、募集を終了します。

※FAXでのお申込で、定員に達して参加いただけない場合のみ当館からご連絡いたします。

感染症予防対策

本展覧会では、新型コロナウイルス感染予防のため、以下の点についてお守りいただくようお願い申し上げます。◎マスクを着用し、咳エチケットの順守にご協力ください。◎咳や発熱など、風邪の症状がみられる方は、ご来場をお控えください。当館では万全の感染予防措置をおこない、皆様のご来館をお待ちいたしております。

高志の国 文学館

KOSHINOKUNI Museum of Literature

〒930-0095 富山県富山市舟橋南町2-22
TEL.076-431-5492 FAX.076-431-5490
https://www.koshibun.jp/

次回 開館10周年記念企画展
企画展 「百人一首 一和歌と美の世界展」(仮称)
予告 2023年3月19日(日)~6月5日(月)

高志の国文学館では、Facebook、Twitter、Instagramで最新情報を発信しています。ぜひフォローしてください!



利用のご案内

〈開館時間〉9:30~18:00(観覧受付は17:30まで)
〈休館日〉毎週火曜日、年末年始(12月29日(木)~1月3日(火))、2月13日(月)、2月24日(金)
〈観覧料〉一般500円(400円)、大学生250円(200円)、前売り・一般400円

[お求めは高志の国文学館、アーツナビで。文学館受付にてチケットに引き換えます。]
※()内は20人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。
※小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方は、常設展・企画展ともに無料で観覧できます。

交通のご案内

- JR・あいの風とやま鉄道 富山駅南口から/◎市内電車「富山駅」のりばから大学前行または環状線「県庁前」下車、徒歩5分 ◎徒歩15分 ◎コミュニティバスまいどは(西ルート)「富山中部高校前」下車、徒歩2分
- 富山空港から/◎タクシー 約20分
- 北陸自動車道富山ICから/◎自動車 約20分

